

平成19年度 第2回保健医療従事者研修会開催要領

1. 目的

本研修会は、県内の保健医療従事者の情報の共有化、連携の促進および資質の向上を図ることを趣旨として開催しており、今年度第1回については「リスクマネジメント」について取り上げてきたところである。

第2回については、感染予防をテーマとして取り上げる。

今年の春先には、麻しんが青少年を中心として全国的に流行し、ニュース等メディアにも取り上げられる等関心を集めた。また、毎年冬季には、インフルエンザ、ノロウイルス等さまざまな感染症の集団感染が発生しており、保健医療従事者としては迅速かつ適切な対応がもとめられるところである。

これらのことから、主に集団生活における感染拡大の予防と対策の実際について学ぶことにより、知識を深め、さらに保健医療の現場等においてより適切な対処方法や関係部署の連携等を検討することを目的とする。

2. 内容

「これからの感染症対策～各施設における対策の実際から学ぶ～」をテーマとしたシンポジウム

① 基調講演講師兼座長

滋賀県立大学 人間看護学科 教授 山田 明 氏

「感染症の概論（麻しんと冬に多い感染症について）」

② シンポジスト

・長浜メディケアセンター 施設長 山口 珠緒 氏

「入所者の感染伝播予防対策について（仮題）」

・大津市保育課 保健師 平田 史子 氏

「入所児の感染伝播予防対策について（仮題）」

・滋賀県健康推進課 主幹 小林 靖英 氏

「滋賀県内の感染症対策について（仮題）」

3. 日時

平成19年12月11日（火） 午後1時30分～4時

13:00 受付開始

13:30～13:40 開会、あいさつ

13:40～14:40 基調講演「感染症の概論（麻しんと冬に多い感染症について）」

14:40～15:40 シンポジスト発表（1人20分程度）

15:40～16:00 意見交換 質疑応答

16:00 閉会

4. 場所

滋賀県立男女共同参画センター 視聴覚室

近江八幡市鷹飼町80-4

5. 対象者 保健医療従事者等

6. 主催 (財) 滋賀県健康づくり財団

7. 共催 (社) 滋賀県放射線技師会 (社) 滋賀県臨床衛生検査技師会
(社) 滋賀県理学療法士会 滋賀県市町保健師協議会
滋賀県作業療法士会

8. 後援 滋賀県

平成19年度第2回保健医療従事者研修会

「これからの感染症対策」 ～各施設における対策の実際から学ぶ～

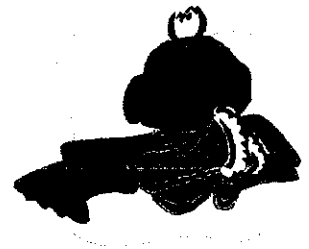
今年の春先、大学生などの若い世代に麻疹が流行しました。このときの大学等の休校数の多さは、社会的な混乱ももたらすほどでした。

感染症が発生した場合に、休校等で集団への感染伝播を防ぐことはとても大切なことです。感染の発生には常に注意を払い、早期の発生の確認と迅速な対応をすることが常に求められます。

主に、集団を対象とした対策方法について、各施設の取り組みを発表いただく研修会を開催します。

対策の実際をいろんな事例から、共に学んでいきましょう。

日時 平成19年12月11日(火)
午後1時30分～午後4時
(受付開始午後1時)



テーマ これからの感染症対策
～各施設における対策の実際から学ぶ～

発表 講師・座長 滋賀県立大学人間看護学部教授 山田 明 氏
シンポジスト 長浜メディケアセンター施設長 山口 珠緒 氏
大津市保育課 保健師 平田 史子 氏
滋賀県健康推進課 主幹 小林 靖英 氏

会場 滋賀県立男女共同参画センター 視聴覚室
近江八幡市鷹飼町 80-4
JR琵琶湖線<近江八幡駅>…南口(SATY側)徒歩約10分
※できるだけ、公共交通機関をご利用ください。

申込み先 (財)滋賀県健康づくり財団 担当 岩見・山本
TEL(077)525-2733 FAX(077)521-0471

平成19年度 第2回保健医療従事者研修会参加申込書

団体名

記入者名

所属

TEL

| 所属部署名 | 職種名 | 氏名 |
|-------|-----|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

計 () 名

(財)滋賀県健康づくり財団 (担当 岩見・山本) FAX 077-521-0471